

2008年10月22日

最新型織機を導入 カーテン生産設備増強 市原事業所

株式会社川島織物セルコン（本社：京都市左京区 社長：中西正夫）は、メーカーとしてのモノづくり力アップと、高品質商品のさらなる安定供給に備え、大口ジャカード織機を導入しました。

当社は、インテリアファブリック業界唯一、染色から製織までの一貫生産設備を持ち、かつ、トータルコーディネート提案から販売までを手がけられるメーカーとして、商品の差別化を図ってきましたが、市場がより高品質な製品を求めていること、また、その安定供給に対応するため、市原事業所（京都市）に大口ジャカード織機を増設しました。

この織機の導入で、高品質・高級ゾーンでの競争力を一層高め、商品の差別化をさらに強化していきます。また、原材料高など市況悪化の影響による協力工場の休廃業が相次ぎ、生産量の低下に伴う商品の安定供給体制の確保が急務となっていました。今般の織機導入で、一定量の供給も確保できました。

川島織物セルコンは、「メーカーとしてのモノづくり力」と「さらなる高品質商品の開発」を強化していきます。

●導入織機

ジャカード織機	1台
ジャカード	BONAS社（ベルギー）製 大口電子ジャカード
織機	DORNIER社（ドイツ）製 最新型レピア織機

●市原事業所

インテリア製品（カーテン）と、呉服関連製品（帯・緞帳など）を生産する事業所

所在地	京都市左京区静海市市原町 265 （本社所在地）
敷地面積	5万 4300 m ²
述床面積	2万 6000 m ²



このリリースに関するお問い合わせ

株式会社川島織物セルコン 経営企画部広報グループ 藤岡義也

TEL : 075-741-4316 FAX : 075-741-4133

E-mail : kouho@kawashimaseikon.co.jp